

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	タクシー運転手	来客数の動き	・今月は企業のあいさつ回りなどが結構あり、来客数もかなり多い。夜も例年より今年のほうが忘年会などでかなり遅くまで飲み歩いている人がいるので、売上の的にも良くなっている。
	やや良くなっている	通信会社（営業担当）	単価の動き	・月を増すごとに客単価が上昇している。サービス内容がしっかりしていれば、客は支出を意識的に抑えることはない。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・山岳の施設なので例年2～3度降雪があるが、今年は暖冬のおかげで一度もなく、入場者数が順調に推移している。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・単価はほとんど変わらないが、このところ来客数が増え始め、5～6%程度増加している。
	住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・最近商業地の物件が大分なくなったような感じで、物件探しに一苦労している。住宅地の需要も結構あり、良い場所については物件不足であるが、値段が安いのが問題点の一つである。	
変わらない		スーパー（総務担当）	単価の動き	・月初めから中盤にかけては、冬物がかなり活発に動いたが、クリスマスについては、今年は曜日の絡みが非常に悪く、前年を割っている。月末の販売量は再度前年並みとなり、1か月をならせば、大きな変化はなくほぼ前年並みというところである。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・暖冬のため、手袋、コート、ジャケットなどの防寒衣料が苦戦しており、価格戦略でも客の反応は鈍い。12月前半好調であった実用衣料も、累計では前年同月比94%まで落ち込んでいる。食品は、ギフトが販売点数、単価共に上向き、前年同月比106%である。野菜の価格は落ちているが、みかんは約2倍の価格で、点数は7掛けに落ち込んでいる。
		コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・競合店の進出で、売上が年々落ち込んでいるものの、客単価は前年を上回っている。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・キャンペーンや販売促進の催しがあるときは動きがあるが、それ以外はほとんど変わらないか縮小気味である。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・今月は暖冬で季節品は前年比75%と厳しいが、映像関連では薄型テレビが好調で135%、DVDレコーダーも単価は下がっているものの、台数は125%で推移している。全体では110%の予定である。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・高額車を求める客はごく一部であり、その他の客は安価な物を求めている上、商談が成立することが非常に難しくなっている。ここにも格差が出てきている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売台数は前年に比べわずかながら増えているが、廉価車に集中しており、売上は上がらない。
		一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・同業店同士の話のなかでも、景気が良くなっているという話はほとんど聞かれず、なんとか前年度維持か、悪い話が大方である。
		一般レストラン（業務担当）	販売量の動き	・宴会は組数、来客数、単価、いずれも前年を下回ったが、おせちの受注が前年を15%上回り、12月全体の売上は前年をわずかにクリアしている。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・よくいわれているが、好景気なのは一部の企業であって、一個人に対してではないようである。酒や土産など、宿泊費以外の付帯項目が前年並み、又は前年割れしており、好景気とは感じられない。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・冬季シーズンの初めは例年降雪状況次第で入込状況が大きく変わる時期であるが、今年は明らかにスキー場の状態が悪く、予想以上にスキー客の動きが悪い。その反面、忘年会予約は思ったより伸びており、売上は前年を上回っている。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・宿泊客は横ばいで、低価格を求める客の多い傾向が続いている。価格は安く、サービスは過剰に求めるため、忙しいのに実入りが少ない状態である。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・新型アトラクションの導入により、前年を上回る入場者数を確保している。

	ゴルフ場（副支配人）	競争相手の様子	・引き合いは今のところ順調だが、まだまだ値下がりが続いている。
	競輪場（職員）	お客様の様子	・来場者数、購買単価共に変化がない。
	その他レジャー施設「アミューズメント」（職員）	販売量の動き	・分類別に良くなったり悪くなったりしている。クレーンゲーム、UFOキャッチャーのような景品を手に入れるゲームは非常に良くなっており、どちらかというとファンシー的な小物よりも菓子などの実用品が人気である。ダーツやビリヤードのようにある程度体を動かすものはやや落ちている。インターネットゲームなどは変わっていない。
	美容室（経営者）	単価の動き	・パーマをかける人が非常に少なくなっている状況で、単価が下がっている。
	住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・売り物件が少ないにもかかわらず、価格に変動がない。しかし、条件の良い物件について最近では希望価格での売却が可能になってきている。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・現場見学会への来場者数、販売量共に、ここ数か月間ずっと横ばいが続いている。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・暮れになっても商品の動きが鈍い。商店街で正月の竹飾りや松飾りのあっせんをしても、今年は断る店が出てきているのに一抹の不安を感じている。
	一般小売店「青果」（店長）	それ以外	・今月は干し芋が一番動く時期であるが、天候不順で干し芋の仕上がりが悪く、ここ20日間くらい入荷が全然ない。当店は特に干し芋が強く、例年12月の売上の20～30%を占めているが、それがほとんどないので最悪の状態である。
	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・店全体ではそこそこの数字を残しているが、紳士服関連は非常に厳しい状況である。今年は特に暖冬でウォームビズも今一歩、クリスマス関連もなかなか厳しい状況である。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・近郊の大型ショッピングセンターオープンの影響が続いており、来客数、販売数量共に前年を下回っている。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・暖冬のせいか、冬物の厚手のコート、オーバーが売れないというのが一番厳しいところである。
	家電量販店（店長）	単価の動き	・薄型テレビ、DVDレコーダーなど、地上デジタル関連商品の需要はあるものの、昨年の地上デジタル放送開始と冬季オリンピック開催関連での伸びほどではない。単価の落ち込みも大きい。
	乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・毎年12月にハイグレードフェアという展示会を大々的に行っているが、来場者数が極端に減少している。来場する客は車に興味があるので成約率は高いが、来客数が少ないなかの商売なので、販売台数も極端に落ち込んでいる。2～3か月前に比べ、とにかく売行きが悪い。
	住関連専門店（仕入担当）	販売量の動き	・販売数、金額、利益率すべての面で悪化している。天候による影響が大きい。
	高級レストラン（店長）	販売量の動き	・例年、1年のうちで一番忙しい月であるにもかかわらず、ここ10年で一番売上の悪い月であった。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・宴会の動きは比較的堅調だが、フリーの来客数がひどく落ち込んでいる。やはり、外で酒を飲まない傾向になってきているようである。
		設計事務所（所長）	来客数の動き
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・通常11、12月には来年度の話が入ってくるが、今年はそういう情報が少ない。
悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・来客数の減少も多いが、販売量の減少も大きくなっている。12月の活気がない。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・暖冬による防寒物の売上不振と、10月末に大きなショッピングセンターが近郊にできたため、来客数が激減している。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・地方の勤めている人の収入が減っているため、この暖冬で、できれば必要以外の物は買いたくないという傾向が強まっている。

		衣料品専門店 (店長)	単価の動き	・暖冬で暖かい日が続いたため、金額の高いセーターやコートなどが不振である。客単価が低く、購買客数も少ないため、これまではないような売上である。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	化学工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・ここにきてようやく受注が確定し始めている。少しずつではあるが売上が増えてきている。
		窯業・土石製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・例年より取引先の受注量が増加していることに加え、ネット受注が増加している。
		経営コンサルタント	それ以外	・個人住宅の建設に動きがあり、デパート、スーパーマーケット、電気量販店などに休日は人出がある。また、企業の将来に向けた設備投資が動きつつある。
		その他サービス業[情報サービス](経営者)	受注量や販売量の動き	・客の設備投資、情報化投資意欲はおう盛であり、引き合い、見込案件は増加傾向にある。来期の予算取りのための見積り依頼も多く、今後情報化投資の改善が図られるのではないかと期待している。
変わらない	食料品製造業(営業統括)	受注量や販売量の動き	・ポージョレーヌーボーブームも一時のような盛り上がりがなく、各メーカーとも昨年以上の健闘はみられず、低調に推移している。	
	一般機械器具製造業(生産管理担当)	受注量や販売量の動き	・例年であると出荷数量が増えてくる四輪駆動車向け部品の回復は思わしくないが、建設機械、油圧機器といった分野の仕事が好調であり、マイナス分をカバーしている状況が続いている。	
	輸送用機械器具製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・このところ半年ばかり景気は良く、仕事量、単価的にも良い状況が続いている。今のところは今後も変わらず上向きの調子である。	
	不動産業(管理担当)	受注量や販売量の動き	・貸しテナントの事務所に増減がなく、賃貸収入は変わっていない。	
	その他サービス業[放送](営業担当)	受注量や販売量の動き	・比較的順調に推移していたスポットコママーシャルが、商業、サービス業を中心に減少に転じてきている。年末商戦を中心としたイベントは受注金額が減少している。電気、自動車等の製造業からのタイムコママーシャルは横ばい状況であるが、官公庁からの受注が5%程度減少しており、地方における放送、広告収入は依然として厳しい状況にある。	
やや悪くなっている	電気機械器具製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・個々の受注変動は大きいですが、全体的には何とか生産の確保をしている状況である。大手では利益を出しているようだが、我々中小零細は相変わらず受注コストが低く、利益を出すことができない。	
	その他製造業[宝石・貴金属](経営者)	受注量や販売量の動き	・高額品が売れない。販売価格の低下により11~12月の店頭売上も思うように伸びていない。売上ダウンはますます深刻になっている。	
	不動産業(経営者)	取引先の様子	・突発的な仕事を依頼されることが増えているにもかかわらず、サービスとして片付けられることが多い。取引先の人手不足のしわ寄せが、こちらに回ってきている。	
	広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	・12月の広告受注額は前年比15%減で推移している。年明けの案件も伸びず、先は厳しい。	
	新聞販売店[広告](総務担当)	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は98%と9月から4か月連続で前年を下回った。通年ではちょうど100%となる。今月よく聞かれたのは「いざなぎ超えといわれても末端では全く感じない」との声である。	
悪くなっている	建設業(総務担当)	それ以外	・公共工事主体の会社なので、公共事業削減の影響が大きく、今期は会社設立以来最大の赤字を計上した。決算書報告後、特に金融機関の対応が大変厳しくなっている。今後の受注推移報告を密にすることで対応している。	
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社(経営者)	求人数の動き	・自動車、電子関連での求人は根強く、かなり活発な動きがあり、小売、販売等でも目立ったところがあった。今月は、前半から中盤が活発に動き、求職者数は、かなり人手が足りないという状態を反映しての動きとなっている。
		求人情報誌製作会社(経営者)	採用者数の動き	・当社も新規事業として、新しく媒体を増やしたり営業所を拡張したりして採用者を多数採用している。

	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・年末で運輸、サービス、小売業などの季節的な求人が活発である。また、製造業も依然順調で、人材派遣などを通じての募集が目立っている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求職者が減少傾向で推移しており、求人は増加傾向でやや良くなっている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・月間有効求人倍率が1.4倍を超えている。これは93年9月以来の数字である。
	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・06年11月の紹介就職者数は前年比で14.3%上昇し、10か月連続で前年を上回っている。
	学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・就職希望で、まだ活動中の学生も残りわずかとなり、一時期停滞していた直接求人も出始めてきている。しかし、職種や希望勤務地で該当者が出ない場合も多くあり、残念である。
変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・このところ求人数が減少している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は前年比で増加しているが、一般求人は前年比、前月比共に減少している。しかしながら中小零細企業からの求人申込は継続している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・ここ何か月かで求人数の動きが大分落ち着いてきている。
やや悪くなっている	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・正社員について、中途採用者の採用基準が上がってきて、無理してまで採用しないという傾向が顕著になってきている。
悪くなっている	-	-	-